

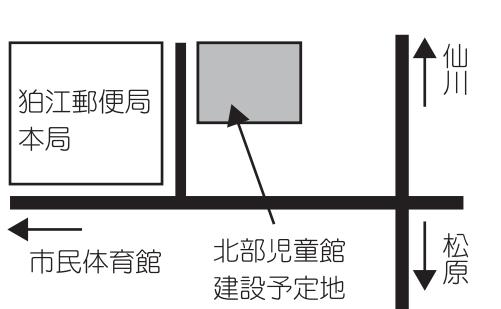
日本共産党泊江市議団ニュース

2018年5月号

発行：日本共産党泊江市議団

連絡先：市議会控室3430-1177

日本共産党泊江市議団の活動を紹介します。



北部地域に児童館建設へ

今年度、泊江郵便局本局の東隣に新しく児童館が建設されます。児童館には、乳幼児が遊べる部屋やバスケットボールやボルダリングが楽しめる遊戯室、共働き家庭のための学童クラブ、中高生のための部屋やバンド演奏ができる防音設備つきの部屋など、乳幼児から中学生まで楽しめる施設となります。

西村議員は情報公開資料を示し、「夜に誘われた」とが多くて困ったこと、「エレベーター内でお尻を触られた」「肩や胸も触られて困つて飲むことを強要された」などの記述があります。これらは「間違いない」と指摘しました。

西村議員は情報公開資料を示し、「夜に誘われた」と多くて困ったこと、「エレベーター内でお尻を触られた」「肩や胸も触られて困つて飲むことを強要された」などの記述があります。これらは「間違いない」と指摘しました。

高橋市長のセクハラ問題 「職員と市民に謝罪し辞職を」



約140名が参加した市民集会（4月22日、泉の森会館）



22市民
茶の水女子大名誉教授戒能民江・お茶の水女子大名誉教授



情報公開資料や複数の女性の証言をもとに市長のセクハラ行為を追及する西村あつ子議員

3月1日の一般質問で、日本共産党の西村あつ子議員が、高橋市長のセクハラ行為を追及しました。マスコミ各社がつめかけ傍聴席は満席となりました。

西村議員は「泊江市職員ハラスメント防止指針」を示し、市役所全体としてハラスメントを許さないという認識と行動が必要であるとした認識を示した市長に対し、張し市長の認識をただしました。

西村議員は情報公開資料を示し、「夜に誘われた」とが多くて困ったこと、「エレベーター内でお尻を触られた」「肩や胸も触られて困つて飲むことを強要された」などの記述があります。これらは「間違いない」と指摘しました。

高橋市長のセクハラ行為看過できない 日本共産党 西村あつ子議員が追及

講演してセクハラは個人の尊厳を傷つ。あ茶の水女子大名誉教授戒能民江さんが取扱いを取扱うとあります。

職員組合の動議に反対し真相

解明に背を向けじりと批判。ま

た市職員組合「ユースド

加害者は市長であるじりと相談が

複数寄せられていふ」と報じられていふと紹介しました。

集会では共産、生活々、社民、民進の超党派女性議員や参加者が決意を述べたところ、「高橋市長はセクハラ行為を認め、職員と市民に謝罪し、直ちに辞職する」と求めます」というアピールを採択しました。

橋市長のセクハラ問題の幕引きを許さず、真相解明・再発防止へ」4・22市民集会（同実行委員会主催）が開かれ約140名が参加しました。周東三和子実行委員長は「日本中に泊江市とセクハラが結びついてしまったがまんできない。このままでやめられない。心を合わせ安心して住み続けられるまつやおやじにはならない。心

を合わせ安心して住み続けられるまつやおやじにはならない。心

<p

全ての職員が安心して働く市役所へ

高橋市長のセクハラ問題

幕引き許さない

共産・生活ネ・社民・民進が共同行動

①市長給与の一ヶ月に反対

3月27日の本会議に市長は、「私にかかわることで市政に混乱が生じ…」などとして、市長給与を4月と5月の2ヶ月間、20%カット（89万8千円→71万8400円）するという条例を提案、自民、公明、二宅、山田、辻村議員の賛成多数で可決されました。

しかし、給与減額の理由について

て問われた市長は、自らのセクハラ行為についてその事實を認めず、反省も謝罪もありませんでした。日本共産党は、田中とも子議員が反対討論に「市長のセクハラ問題の幕引きを行つために給与減額と断じざるを得ない」として反対しました。生活ネ、社民、民進も反対しました。

②辞職勧告決議の動議提出

同日、日本共産の岡村しん議員が、「高橋市長に対し辞職を求める決議」の動議を提出しました。動議は、共産、社民、生活ネ、民進が賛成しましたが、自民、公明、二宅、山田、辻村議員が反対し、審議ありましたが認めませんでした。

決議は、「ハラスメント防止の先頭に立たなければならぬ市長

相解明と再発防止のための100条調査委員会設置の動議は、自民、公明、二宅、山田、辻村議

員が、その重要な責務を放棄し、職員に重い精神的負担をかけ、市政への信頼を失墜させたことは重大であり、断じて許すことはできない。…」一日も早く、全ての職員が安心して働く職場環境を取り戻し、失われた市政への信頼を回復するため、高橋都彦市長に對し市長の職を辞するよう求めます」と述べています。

③調査委員会設置の動議提出

同日、生活ネが提出した、真員が反対し、審議ありましたが認めませんでした。調査委員会は、関係者の証人喚問や関係資料の提出などを求める権限があります。

自民・公明などの幕引き許せません



狛江駅前で訴える「女性議員有志の会」（3月25日）

セクハラを受けたショックは何十年も続く

「私もかつて地域の男性からセクハラを受けたことがあります。そのときは必死で抵抗して謝らせましたが、次の日から一人でいることができなくなり、怖くて体が震えて仕事もできなくなり、うつ病になってしまいました。何十年も前のことですが、その時のショックというのは、ずっと続きます。それが同じ職場で、セクハラをやった方と一緒に仕事をするということは、どんなにつらいことかと思います。みんなの力で、早く市長をやめさせていただきたいと思います」（3月25日、狛江駅のある女性の訴え）

交際費の不適切な支出と浪費

日本共産党市議団の調査で、市長交際費が当初予算の70万円を毎年20万円前後も上回り、しかも他の費用の流用で使用されていることが明らかとなりました。この額は調布市長の交際費をも上回り、また自治省通じにある「交際費について」と他の費用の流用または予備費の充當は適切でない…」にも反する使い方です。予算委員会で市側も「好ましくない」使い方であることを認めました。

また市長は、この交際費を使って、都庁などにも手土産を持っています。3月1日の西村議員への答弁では、「特別な配慮を持つて、たとえば二人の管理職を派遣してもうひとつか…」一つの潤滑剤として…」など

と述べています。しかし東京都の職員服務規程では、「つかなる理由においても自らの職務に利害関係のあるもの…から金品を受領し…職務遂行の公正さに対する都民の信頼を損なうあそれのある行為をしてはならない」とあり、市長発言は、この規程に反する行為を促すものですね。予算委員会での田中とも子議員の追及に、市長は当初「（3月1日の発言は）少しはみだした部分があったかもしけない」と述べていましたが、さらなる追及の中、当該部分の発言は撤回を余儀なくされました。市長交際費については、支出基準を見直し、浪費をなくし不適切な使用を一掃すべくです。

市政の私物化一掃しよう

3月1日日本共産党市議団5人の一般質問が行われ、一面報道の市長のセクハラ問題は、市民センターの増改築による公民館・図書館の充実、就学援助の充実、保育園や学童クラブの待機児解消、生活保護基準の引き上げなど、市民の切実な願い実現に奮闘しました。その内容を紹介します。

誇りをもつて 住み続けられる柏江へ

宮坂良子議員は、生活保護制度が市民の生存権を守る大切な制度であるのに、受給資格がある人の2割しか利用していないのは恥の意識があるとして、それを解消するため、生活保護が権利であることを市として市民に周知するよう求めました。また国が行なう生保世帯が生活できなくなるとして、引き下げ撤回を国に要望するよう求めました。

福祉保健部長は、「生活保護制度が憲法25条の生存権保障の理念確立のために制定されたことを明記したパンフレットを窓口に設置していく」「(生活保護の出張学習会について)検討していく」と答えた。

宮坂議員はまた、市が行う介護保険の総合事業の事業者報酬の引き上げやボランティア主体の訪問型Bの研修の実施、低所得者の介護保険料を軽減するため、その財源として高所得層の保険料を所得に応じて引き上げるよう求めました。



田中とも子議員は、市民センター増改築問題をどうあげ、市民の会が提案している「木造縦増築案は、地震の横揺れ等にも十分耐えられ、市の調査よりも十分耐えられ、市の調査より低コストで工期も短くなる」として、市としてこの案を真剣に検討し、中央公民館・図書館を抜本的に充実するよう求めました。

企画財政部長は「市民の会から(届けられてきたものが)構造計算書として正式なものであれば、市としても検証する必要はあるか」と答えた。

田中議員は、「他市の状況も踏まえて検討していく」「説明会について「学校事務の共同化の制度設計のなかに盛り込めないか検討していく」と答えた。

鈴木えつお議員は、幼稚園児の年齢が49件、1歳が150件、うちゼロ歳が49件、1歳が150件、2歳が62件、3歳が45件、4歳が13件、5歳が5件となっていました。入所保留件数は324件。うなづいた。

岡村しん議員は、「ひとり親家庭を取り巻く厳しい状況の一端を把握できた。今後対象を広げて子どもの生

活実態をどのように把握するかが課題は何か」と答えた。

西村あつ子議員は、一面報道の市長のセクハラ問題のほか、今後の貧困対策について質問。昨年8月に柏江市が実施した「柏江市ひとり親家庭等アンケート調査報告書」について、「見えてきた課題は何か」とただしました。

岡村議員はまた、若狭北二丁目の周辺地区計画について、「①電研敷地の20㌶の高さ規制の緩和は8割以上の住民が反対しており必要ないのではないか、②公園整備の協議状況はいかがか、③一中通り電研側歩道の早期整備をすべきでは



春の多摩川(土手に咲いたハーバジオンとニケ領宿河原堰)



宮坂良子議員
3480-1895



田中とも子議員
042-427-1183



鈴木えつお議員
3488-8839



岡村しん議員
6751-2757



西村あつ子議員
3480-2780

低所得者の
支援強化し

市民生活守る予算に

国保税・介護保険料の負担増などを軽減



日本共産党の一般会計予算組み替え提案の概要

【歳入】

公民館利用者への市役所駐車場利用料金を軽減する（△119万円）
財政調整基金の繰入金を増額する（4635万2千円）

【歳出】

<総務費関係>

- (1) 市長交際費を減額する（△10万円）
- (2) 証明書等のコンビニ交付事業を中止する（△1150万6000円）

<民生費関係>

- (1) 敬老金の100歳以上の支給を復活させる（40万円）
- (2) 高齢者・障がい者の入浴券交付の所得制限撤廃（45万円）
- (3) ひとり親家庭への家賃補助制度を創設する（500万円）
- (4) 訪問介護など介護保険利用料の軽減制度を創設（750万円）
- (5) 国保税軽減へ繰り出し金を増額する（2382万5千円）

<消防費関係>

- (1) 防災行政無線の戸別受信機の貸出し制度を創設する（800万円）
- (2) 家具転倒防止器具の取付け費と購入費に助成する（420万円）

<教育費関係>

- (1) 大学生向け給付型奨学金を創設する（120万円）
- (2) 一小給食室増築による給食休止期間中にについて準要保護世帯への昼食費補助を実施する（44万円）

日本共産党が予算組み替え提案

3月27日の本会議で日本共産党市議団は、市民生活守るために一般会計予算の組み替え提案を行いました。提案は自民・公明などの反対多数で否決されました。また生活ネ、社民、民進は共産党ひとりも原案に反対しました。

生活ネ、社民、民進も原案に反対



討論する田中とも子議員

以下、田中とも子議員が行った
討論の大要を紹介します。

相談室増設などは、市民要望に
応えるものであり評価します。

不適切な支出と浪費は直ちに是
正すべきです。

予算組み替え提案は、これら問
題点を是正し、国保税について、
低所得者や子育て世代の負担輕
減をはかり、ひとり親家庭への家
賃補助制度の創設、低所得高齢
者への介護保険利用料の軽減、ま
た大学生向け給付型奨学金制度
の創設や防災行政無線が家中で
聞こえる戸別受信機の貸出制度
の創設など、市民生活支援のとりく
みを充実させるものであり評価で
きます。よつて日本共産党泊江市
議団は、編成替えを求める動議に
賛成し、原案に反対します。

安倍内閣のすすめる貧困と格差
を拡大する政治のもと、大企業は
400兆円を超える内部留保を蓄
積する一方、労働者の実質賃金
は5年間で年間16万円も低下して
います。泊江市のひとり親家庭
アンケート調査では、生活が苦し
いという方が7割を超えていました。
今必要なのは、市民生活への支援
策を充実させ、全ての市民が安心
して暮らせるようあります。

原案の北部児童館の建設や子
育て・教育支援複合施設の実施
設計、認可保育園の増設、シルバ
ーの世帯に年3万2千円の保険料が
かかります。また家計の厳しいひ
とり親家庭や低所得の高齢者や
経済的に困難な家庭への教育的支
援など取り組みは不十分です。さ
らには、費用対効果に問題があり、
個人情報漏洩の危険を高める証
明書「コンビニ交付」が継続されます
が、多額の予算がかかるものであ
り中止すべきです。市長交際費の

不適切な支出と浪費は直ちに是
正すべきです。

予算組み替え提案は、これら問
題点を是正し、国保税について、
低所得者や子育て世代の負担輕
減をはかり、ひとり親家庭への家
賃補助制度の創設、低所得高齢
者への介護保険利用料の軽減、ま
た大学生向け給付型奨学金制度
の創設や防災行政無線が家中で
聞こえる戸別受信機の貸出制度
の創設など、市民生活支援のとりく
みを充実させるものであり評価で
きます。よつて日本共産党泊江市
議団は、編成替えを求める動議に
賛成し、原案に反対します。

日本共産党市議団は負担増輕
減へ国保会計や介護保険会計の
組み替え提案も行いました。

無料法律生活相談

- 毎月第1火曜日…午後1時～4時
- 市役所3階 日本共産党市議団控室

*市議・弁護士が相談をお受けします。
*お申し込みは3430-1177（団控室）か各市議へ



4.14 市民集会&パレードに90人

憲法9条壊すな！戦争なんてイヤだ！

日本共産党市議団は負担増輕
減へ国保会計や介護保険会計の
組み替え提案も行いました。

日本共産党市議団のホームページは
日本共産党泊江市議団



3月14日、中央公民館で「憲法9条壊すな！戦争なんてイヤだ！市民集会＆デモ行進」（主催・市民実行委員会）が開催され90名以上が参加しました。

市民集会では、弁護士の中村裕一さん（石戸南在住、元泊江市教育委員）が「これから和平に必要なこと」と題して講演し、「憲法9条と自民党的たたき台加憲案」「国連

憲法9条と自民党的たたき台加憲案」「国連」をすすめています。

実行委員会では「安倍内閣は辞任せよ」などのシゴクハラ市長は辞任せよ」などのシゴクハラコールを上げました。交差点などでは多くの人々が注目を浴びました。

組み替え賛成、原案反対 田中とも子議員が討論